



取締役頭取 河口 和幸

ごあいさつ

皆様方には、平素から私ども熊本ファミリー銀行をお引き立ていただきまして、ありがとうございます。

このたび、地域に根ざした金融機関として、熊本ファミリー銀行をより一層ご理解いただくために、中間期ディスクロージャー誌を作成しました。

本誌におきましては、平成18年9月期の業績を中心に、経営の現況やCSR（企業の社会的責任）の取組み、地域貢献活動などについて詳しく説明しています。

当行は、本年4月の福岡銀行との経営統合に向けて、両行の一体的な財務運営を行うため、当行の財務基準を地銀の中でも極めて保守的とされる福岡銀行の基準に統一し、第一四半期から前倒しで自己査定を実施しました。この結果、今中間期において572億円の追加引当処理を実施し、誠に遺憾ながら優先株式・普通株式とも配当を見送らせていただく事となりましたことを深くお詫び申し上げます。しかしながらこれにより、財務体質の抜本的強化を図るとともに、お取引先の事業再生支援態勢を強化することが可能となり、重要な経営課題であった不良債権問題と訣別し、今後は安定的な収益の拡大を図っていく態勢が整いました。

経営統合に向けては、このほかATM手数料相互無料化の実施、コンビニATMの拡大に向けた検討、サービサーの開設など、両行は、本年4月の経営統合に向け強い信頼感のもと、相当のスピード感と深度をもって、各種施策や提携の検討・協議を進めています。

これにより、営業ネットワークの拡大による顧客サービスの向上、地域社会への貢献、企業価値の持続的成長の実現、従業員満足度の向上を図り、経営の基本方針に掲げた「地域貢献No.1銀行」・「お客様満足度No.1銀行」の実現、ひいては「日本屈指の地域金融グループ」を目指して努力してまいります。

今後も皆様方のなお一層のご支援・ご愛顧を賜りますよう心からお願い申し上げます。

取締役頭取 河口 和幸